

さいくうあと通信

発行 明和町 齋宮跡・文化観光課
 (明和町大字馬之上 945 番地)
 電話 : 0596-52-7126 FAX : 0596-52-7133
 E-mail : saikuuato@town.mie-meiswa.lg.jp

サイク
3月19日(木)

オープン!!

齋宮駅史跡公園口休憩所



近鉄齋宮駅の北側に改札と「史跡公園口休憩所」が3月19日(木)にオープンします。面積は約 80 m²で、施設内では休憩スペースのほか町の観光情報コーナーを設けます。また、大きな荷物をお持ちの観光客向けにコインロッカーも設置します。北側に改札ができることで史跡齋宮跡やいつきのみや歴史体験館へ直接行けるようになり、観光客の利便性が向上します。



3月19日の完成に向けて工事が進んでいます。

～齋宮駅へ自動車及び自転車でお越しのみなさまへ～

史跡公園口園路内については、一般車両の通行はできません。駅への送迎や車の乗降はいつきのみや歴史体験館東の砂利駐車場をご利用ください。また、園路内には駐輪スペースは設置しません。休憩所周辺に駐輪している自転車などを見つけた場合、速やかに撤去いたします。

地上約 30mから
 齋宮を見ませんか？



齋宮駅史跡公園口休憩所オープン記念 熱気球係留フライトを開催します!!

- 日時：平成 27 年 3 月 21 日 (土) 6:30 ~ 9:30
 (受付時間 6:00 ~ 8:30)
 - 場所：史跡齋宮跡内上園芝生広場
 - 参加費：中学生以上 1,500 円 / 人 小学生以下 1,000 円 / 人
 3 歳以下は無料 (保護者の同伴必要)
 - 定員：250 人 (応募先着順)
 - 締切：3 月 13 日 (金) 必着
 (定員になり次第終了とします。)
 - お問い合わせ先：0596-52-7126
- ※応募方法の詳細は齋宮跡・文化観光課まで。



コラム 歴史の道から探る王朝人の想い②

みなさん、西行という人物をご存知でしょうか。歴史の教科書にも登場し、授業でも習う有名な人です。西行は平安時代末期〜鎌倉時代の武士であり、僧侶であり、大歌人です。出家をしてからは全国行脚をしながら、たくさんの歌を詠みました。西行は齋宮を訪れ、こんな一首を残しています。

いつかまた いつきの宮のいつかれて
しめの御内に ちりをはらはむ

『山家集』
さんかしゅう

この歌から作歌時期に齋王が齋宮にいなかったこと、齋宮が荒れるほど人の手が入っていなかったことがわかります。

齋宮は齋王がいなければ、女官などの官人も全員都に帰ってしまいます。齋王制度が続いた六六〇年間、齋宮に誰かが常駐したわけではありません。

この歌が作られた時期は文治二年（一一八六）頃と考えられています。この頃は源氏と平家の騒乱が続いており、齋王が齋宮に在任していない期間が一五年余りもありました。西行はおよそ一五年放置された齋宮を訪れ、齋宮の荒れ果てた姿を見、嘆いて歌を詠んだようです。

みやびやかな世界が時には一変して、もの寂しき漂う地になっていた齋宮。齋王になったものの伊勢に赴くことがなかった齋王さまはどんな気持ちで都で過ごし、動乱の世を送ったのでしょうか。



(大意)

いつになったら齋王が神に奉仕なされて、
しめ ちり
注連のめぐらされた御内に塵を払うこと
でしょうか。



史跡内での工事は、事前に
齋宮跡・文化観光課
までご連絡ください!

史跡齋宮跡地内での建物の新築、解体撤去、合併浄化槽の設置、フェンスやブロックの設置などの工事を行う際には、文化財保護法の適用のもと、事前に許可申請が必要となります。

また、齋宮跡以外の地域においても、周知の埋蔵文化財包蔵地（遺跡の範囲）内で開発する際は同法により届出が必要です。文化財の保護に皆様のご理解、ご協力をよろしく
お願いします。なお、ご不明な点は役場齋宮跡・文化観光課（電話：52-7126）まで
ご相談下さい。

